

ダニ媒介感染症に注意！

草むらや藪等に生息しているマダニ類やツツガムシ類は病原体を持っている場合があり、咬まれると日本紅斑熱、ツツガムシ病、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）などの感染症にかかる危険性があります。これらを予防するため、裏面のダニ対策を御確認ください。

表1 ダニ等媒介感染症一覧

病名	SFTS (重症熱性血小板減少症候群)	日本紅斑熱	つつが虫病
病原体	SFTS ウイルス	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア
病原体を持つダニ	マダニ類	マダニ類	ツツガムシ類
潜伏期間	6～14日	2～8日	5～14日
症状	発熱、消化器症状(食欲低下・吐気・嘔吐・下痢・腹痛)、重症化による死亡もあり。	頭痛、発熱、倦怠感、発疹(米粒～小豆大の紅斑が手足・掌・顔面等に出現)	発熱、体幹部を中心とした発疹、倦怠感、頭痛、刺し口近傍のリンパ節炎等。
ワクチン	なし	なし	なし
治療	対症療法	特定の抗生物質を服薬	特定の抗生物質を服薬
その他	西日本を中心に発生。5～8月に多く発症が見られる。	西日本に多く、春から秋に発生が見られる。	全国的に生息・発生

表2 全国・長崎県・五島におけるダニ等媒介感染症の発生状況

	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年		
	全国	長崎県	五島	全国	長崎県	五島	全国	長崎県	五島	全国	長崎県	五島
SFTS	60	2	0	60	2	0	90	11	0	77	4	1
日本紅斑熱	215	13	0	277	8	0	337	20	1	303	19	0
つつが虫病	419	3	0	505	12	1	437	8	1	455	8	0

図1：マダニ類・ツツガムシ類の写真



ヤマアラシチマダニ



フタトゲチマダニ



アカツツガムシ



吸血前後のダニの様子
(馬原あかり医学研究所提供)

ダニに咬まれないために

ダニに咬まれないことが重要です。特にダニの活動が盛んな春から秋は注意しましょう。ダニに咬まれても痛みや痒みがあまりないため、気づかないことが多いようです。屋外活動後の着替え時などに、ダニが吸着していないか確認してください。

- 雑木林・草むら・畑等に入る場合は、長袖・ズボン、足を覆う靴、帽子、手袋、首にタオルを巻くなどして、肌の露出を避ける。
- 防虫スプレーを使用する。
- 屋外活動後は家に入る前に外で服をはたく。
- 屋外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか（特に、首、耳、腋の下、足の付け根、手首、膝の裏など）確認する。



ダニに咬まれたら

ダニに咬まれた場合は無理に引き離さず、医療機関への受診をお勧めします。ダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間（数日～長い場合は10日間以上）吸血しますので、無理に引き離すとダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、ダニの体液を逆流させる恐れがあります。なお、咬まれた後は数週間程度、体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合は医療機関を受診し、ダニ類に咬まれた旨を告げ、診察を受けて下さい。

Q&A

- Q 1 全てのダニが日本紅斑熱やツツガムシ病等の病原体を持つのですか？
草むらや藪に生息するマダニ類やツツガムシ類（表参照）で病原体が認められていますが、全てのマダニ類やツツガムシ類が必ず病原体を持つとは限りません。
- Q 2 ペットのイヌやネコはダニ媒介感染症にかかりませんか？
動物は症状を示さない不顕性感染をされると考えられていますが、一部でSFTSを発症したイヌやネコが報告されています。ペットの健康を守るためにも、ペットのダニは適切に駆除し、散歩後には体表チェック等を行いましょう。
- Q 3 見つけたダニを保健所に持って行ったら何のダニか鑑別してもらえますか？
保健所でダニの鑑別はできません。
- Q 4 ダニ媒介感染症にかかっていないか、保健所や医療機関で検査してもらえますか？
ダニ媒介感染症を疑う病状があり、かつ発症時の血液や刺し口の瘡蓋等が採取できる状態であれば、医療機関の医師の判断で検査は可能です。
- Q 5 防虫スプレーは効果がありますか？
DEET（化学名：ジエチルトルアミド）という成分を含むものには補助的な効果があると言われています。ただし、防虫スプレー等の昆虫忌避剤は身体に影響を及ぼす場合がありますので、対象年齢や回数制限等を良く確認してから使用ください。
- Q 6 庭にダニがいます。庭のダニを殺虫剤等で駆除することはできますか？
庭用やペット用等の各種殺虫剤が市販されています。薬局・薬店に御相談ください。